electro-harmonix

PITCH FORK+

Polyphonic Pitch Shifter/Harmony Pedal

この度は electro-Harmonix PITCH FORK®+ ポリフォニック・ピッチシフター/ハーモニーペダルをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。PITCH FORK®+は独立した2つのピッチシフト・エンジンを搭載しています。それぞれ最大で +/- 3オクターブのレンジまで対応し、デチューンモード(D.)では+/- 99セントまでのデチューンが可能です。ピッチシフトされた各ボイスのボリューム・コントロールに加えてドライ音のレベル・コントロールも可能な他、PITCH FORK®+はMAINとAUXの2つのアウトプットジャックを搭載しています。AUXアウトプットから出力する信号は複数のチャンネルから選択が可能です。通常のバイパス・フットスイッチに加えてUSERと名付けた2つ目のフットスイッチを搭載しており、こちらは様々な機能の操作に使用します。エクスプレッション・ペダルまたはコントロールボルテージ(CV)用のインプットも多くのパラメーターの操作に使用できます。外部フットコントローラを用いたハンズフリーでの操作も可能で、また視認性の高い大きなサイズのディスプレイを採用しています。PITCH FORK®+は最大100種類のプリセットをセーブ/ロード可能なスロットを備えています。PITCH FORK®+がもつ実に幅広い機能の一部に慣れ親しんでいただくために、10種類のファクトリー・プリセットもインストールされています。

注意：PITCH FORK®+にはElectro-Harmonix 9.6DC-200mAアダプターが付属します。PITCH FORK®+の消費電流は9VDCセンターマイナス/120mAです。間違ったアダプターを使用すると故障の原因となり、保証対象外となりますのでご注意ください。

- 目次 -

クイックスタートガイド ・・・・・・・・・・・・・・2
接続端子 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
コントロールとディスプレイ ・・・・・・・・・・4
各モードについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・5
AUXモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
SHIFT 1&2モード ・・・・・・・・・・・・・・・・7
EXPモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
USERモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
X-MODモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
PRESETモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
ファクトリープリセットのリストア ・・・・・・・12
LATCHモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
外部フットスイッチコントロール ・・・・・・・14

クイックスタートガイド

PITCH FORK®+を接続する

1. 付属のアダプターをペダル上部のDC9Vジャックに接続します。反対側をコンセントに接続します。
2. 1/4” モノフォーンケーブルを使用して、ギターまたは他の楽器をINPUTジャックに接続します。もう一本の1/4” モノフォーンケーブルを使用してMAIN OUTPUTジャックをアンプへ接続します。
3. AUXを使う際は、もう一本の1/4” モノフォーンケーブルを使用してAUX OUTPUTをもう1台のアンプへ接続します。
4. electro-harmonix製 Expression Pedalなどのエクスプレッション・ペダルを使う際は、TRSケーブルを使用してEXPジャックへ接続します。
5. Electro-Harmonix Triple Foot Controllerのような3スイッチタイプの外部フットコントローラーと併用する際は、TRSケーブルを使用してEXTジャックへ接続します。

ファクトリー・プリセットをロードする

1. PRESETモードボタンを押します。
2. VALUEノブを回して1～10のファクトリー・プリセットをスクロールします。
3. VALUEノブを押して点滅中のプリセットをロードします。

ユーザー・プリセットを作成する

1. PRESETモードボタンを押します。
2. VALUEノブを反時計回りに回し、LIVEと表示されるまでスクロールします。
   - LIVEはプリセットの作成に使用できるテンプレートです。
   - LIVEの設定はプリセットとして保存でき、再起動後に呼び出すことも可能です。
3. VALUEノブを押してLIVEをロードします。
4. SHIFT 1ボタンを押してVALUEノブを回し、SHIFT 1の音程を半音ずつ調節します。
5. SHIFT 2ボタンを押してVALUEノブを回し、SHIFT 2の音程を半音ずつ調節します。
6. DRY、SHIFT 1、SHIFT 2のボリュームノブでお好みのミックスに調節します。
7. PRESETボタンを押してVALUEノブを回し、空のプリセット・スロットを選択します。空のプリセット・スロットはファクトリー・プリセットと異なり、画面右下にドットが表示されません。出荷時のデフォルトではスロット11～100が空になっています。
8. VALUEノブを2秒間長押しするとプリセットをセーブします。PRESET LEDの点滅が止まったらセーブ完了です。

接続端子

INPUTジャック – 入力インピーダンス2.2MΩのインプットジャックです。

MAIN OUTPUTジャック – 出力インピーダンス470Ωのメインアウトプットジャックです。

AUX OUTPUTジャック – 出力インピーダンス470Ωのサブアウトプットジャックです。

EXPジャック – エクスプレッション・ペダル、またはコントロールボルテージ(CV)を接続します。PITCH FORK®+はエクスプレッション・ペダルを様々なパラメーターにアサインできます。詳細は「EXPモード」の項をご参照ください。

EXPジャックはTRS(Tip-Ring-Sleeve)ケーブルを使用したエクスプレッション・ペダルの接続またはTS(Tip-Sleeve)プラグを用いた0〜5Vのコントロールボルテージの入力に対応しています。エクスプレッションペダルは10kΩ リニアテーパー(Bカーブ)の可変抵抗器を使用したものを推奨します。また、ワイパーがTIPに、つま先を下ろしたポジションがRINGに割り当てられている必要があります。メーカーによっては例外的な仕様になっている場合もあるため、その際はRINGとTIPを逆にする特殊なケーブルを用いる必要があります。

推奨ペダル：EHX Expression Pedal、EHX Dual Expression Pedal、M-Audio® EX-P、Moog® EP-2およびEP-3、Roland® EV-5、またはBoss® FV-500L

EXTジャック – electro-harmonix Triple Foot ControllerやDigitech® FS3Xのような汎用の外部フットコントローラを接続するためのTRSタイプのインプットジャックです。コントローラ側のスイッチは、それぞれMODE(Tip)、UP(Ring)、DOWN(Tip+Ring)として機能します。これらはモードの変更やサブメニューへの移行/離脱、プリセットのロードおよびパラメーターの調節に使用します。フットコントローラではプリセットのセーブは行えません。詳細は「EXT」の項をご参照ください。

DC9Vジャック – electro-harmonix JP9.6DC 200mAを接続するためのDCジャックです。PITCH FORK®+はプラグ径2.1mm センターマイナス極性のバレルプラグのみ対応しており、消費電流値は120mA です。

コントロールとディスプレイ

DRYノブ – ドライシグナルの音量を調節します。

SHIFT 1ノブ – SHIFT 1のエフェクトの音量を調節します。

SHIFT 2ノブ – SHIFT 2のエフェクトの音量を調節します。

VALUEノブ – 両方向に無制限に回すことができ、押すことでボタンとしても機能するロータリーエンコーダーノブです。選択したモードのパラメーターの調節やサブメニューへの移行、メモリへのプリセットのセーブに使用します。有効時にノブを押すことでサブメニューへ移行します。PRESETモードでVALUEを押し続けることでプリセットをセーブします。

ディスプレイ – 選択中のモードのパラメーター値やメニューの設定を表示するディスプレイです。モードメニューやサブメニューで現在どのオプションを選択しているか表示します。

「FREQ.」のような表示でディスプレイの右下にドットが表示されている場合、下位にあるサブメニューへ移行できることを意味します。VALUEノブを押すか外部フットコントローラのMODE(Tip)フットスイッチをダブルタップすることで、サブメニューへ移行します。

BYPASSフットスイッチおよびLED – BYPASSフットスイッチでエフェクトのON/OFFを切り替えます。ラッチモード時は、フットスイッチを押すたびにON/OFFが切り替わります。モメンタリーモード時は、フットスイッチを押している間だけグリッサンド・エフェクトがONになり、フットスイッチから離すとバイパスモードになります。エフェクトモード時またはグリッサンドが有効になっている間は状態を示すLEDが点灯します。

USERフットスイッチおよびLED – USERモードボタンの選択中に、USERフットスイッチの機能をプログラムすることができます。USERフットスイッチはBYPASSフットスイッチから独立して機能し、専用のLEDを備えています。LEDの点灯中はエフェクト、または割り当てた機能が有効です。LEDの消灯中はエフェクト、または割り当てた機能が無効になっているか、使用されていいことを示します。

各モードについて

PITCH FORK®+は8種類のコントロールモードを搭載しており、光る8つのボタンを押すことで各モードを選択できます。モードボタンは各モードからの離脱やひとつ前のサブメニューへ戻る際、またはメインモード・メニューへ戻る際にも使用できます。別のモードのボタンを押すと、ひとつ前に選択したモードをリセットしてメインメニューへ戻り、新しく選択したモードへ移行します。

AUX – AUXモードでは、どのチャンネルをAUX OUTPUTへ送り出すかを選択します。またAUXメニューでBYPASSフットスイッチがAUXアウトへどのように影響するかも変更できます。

SHIFT 1およびSHIFT 2 – SHIFTモードでは、各シフトエンジンが入力シグナルをどの程度トランスポーズ(移調)するかを設定します。各SHIFTモードは半音またはオクターブ単位で調節でき、±3オクターブの範囲まで対応しています。また各SHIFTモードでデチューン(D.)の設定も可能です。

EXP – EXPモードでは、3つのサブメニュー(FREQ、GLISおよびVOL)のうち、いずれかにエクスプレッション・ペダル、またはコントロールボルテージ(CV)のアサインを設定します。これらのサブメニューではピッチ、グリッサンド(グライド)のレート、および各SHIFT音とDRYシグナルのボリュームをコントロールできます。

USER – USERモードでは、USERフットスイッチの機能をプログラムします。プログラマブルUSERフットスイッチは様々なパラメーターや拡張機能のコントロールにアサインできます。

X-MOD – X-MODモードでは、クロスモジュレーションの量とSHIFT2+DETUNE2の設定を変更します。クロスモジュレーションはリングモジュレーションやFMシンセ風のエフェクトの作成に使用でき、SHIFT2+DETUNE2はSHIFT 2で設定したインターバルにデチューン(D.)で設定したインターバルを追加します。

PRESET – PRESETモードはプリセットのロードとセーブに使用します。

LATCH – LATCHモードではBYPASSスイッチの効き方を変更できます。オリジナルのPitch Fork®と同様にBYPASSフットスイッチはラッチまたはモメンタリーモードに設定できます。

モードボタンの機能

各モードボタンは、搭載されたノブ以外のパラメーターコントロールを可能にします。モードボタンを押した場合、選択したボタンが点灯し、ディスプレイにも表示されます。VALUEノブを使用して値のスクロールやサブメニューの決定、プリセットのセーブ/ロードが行えます。

AUX Mode – AUXモード時、VALUEノブはAUXアウトプットへ送り出すチャンネルの選択に使用します。選択したチャンネルは「ALL」を除いてMAINアウトプットへ出力されません。

- **IN –** Pitch Fork+の回路を経由していない入力信号を直接AUXアウトへ送り出します。
- **DRY –** DRYノブのチャンネルをAUXアウトへ送り出します。
- **D+S2 –** DRYとSHIFT2の両方のチャンネルをAUXアウトへ送り出します。
- **SHF2 –** SHIFT2チャンネルをAUXアウトへ送り出します。
- **ALL –** DRY、SHIFT1、SHIFT2チャンネルはAUXアウトとMAINアウトの両方に送り出されます。
- **BYPS. –** VALUEエンコーダーを押すとBYPASSフットスイッチのサブメニューに入ります。

BYPSサブメニューは、AUXモード選択時におけるBYPASSフットスイッチのAUXアウトへの動作を設定します。

- **BYP. –** BYPASSフットスイッチの動作をAUXアウトに適用するかを選択します。
  - **ON –** AUXアウトは、BYPASSフットスイッチを使用してAUXモードで設定したチャンネルとBYPASS TYPEメニューで設定したバイパスタイプを切り替えます。
  - **OFF –** BYPASSフットスイッチはAUXアウトに影響せず、USERフットスイッチでコントロールされるまでアクティブです。
- **TYPE. –** BYPをONに設定している場合のAUXアウトのバイパスタイプを設定します。
  - **NORM –** AUXアウトをバイパスにした際、INPUTジャックに入力された信号を直接AUXアウトに送り出します。
  - **MUTE –** AUXアウトをバイパスした際、AUXアウトをミュートします。

SHIFT 1 & 2モード – 両方のSHIFTモードチャンネルは同一です。どちらのモードでもVALUEノブは入力信号のトランスポーズ(移調)の幅を選択します。VALUEノブはSHIFTモードにおいては合計±3オクターブの間で選択が可能です。

SHIFTモード バリュー

D.	**m2**	**M2**	**m3**	**M3**	**P4**	**b5**	**P5**	**m6**	**M6**
Detune sub-menu	minor 2nd	Major 2nd	minor 3rd	Major 3rd	Perfect 4th	Flat 5th	Perfect 5th	minor 6th	Major 6th
m7	**M7**	**1OCT**	**m9**	**M9**	**m10**	**M10**	**P11**	**b12**	**P12**
minor 7th	Major 7th	1st Octave	minor 9th	Major 9th	minor 10th	Major 10th	Perfect 11th	Flat 12th	Perfect 12th
m13	**M13**	**m14**	**M14**	**2OCT**	**m17**	**M17**	**P18**	**P19**	**3OCT**
minor 13th	Major 13th	Minor 14th	Major 14th	2nd Octave	minor 17th	Major 17th	Perfect 18th	Perfect 19th	3rd Octave

Note：シフトダウンの値の場合、信号はルートより下にトランスポーズされます。例えば、-1OCはルートより1オクターブ下に、-38Cはルートから38セント下になります。

SHIFTモード時にデチューン(D.)を選択した場合、入力信号に対して±99セントの範囲でデチューン効果を作り出します。デチューンのサブメニューでは、1～99の範囲で1セント単位ずつの調節が可能です。

デチューン値の設定方法：

1. SHIFTモードを選択します。
2. VALUEノブを回してデチューン(D.)を選択します。
3. VALUEノブを押してサブメニューに入ります。
4. VALUEノブを回してプラスもしくはマイナス方向に1セントずつでチューン効果を調整します。
5. 好みの設定が決まったら、いずれかのMODEボタンを押してサブメニューを終了します。

X-MOD内のサブメニューでS2D2を有効にすることで、デチューンにSHIFT 2のインターバルを追加することが可能です。S2D2が有効になっている場合、SHIFT 2のインターバル・セッティングの他、SHIFT 2のD.メニューで設定したデチューンのインターバルも適用されます。例えば、SHIFT 2を1オクターブにセットし、SHIFT 2のデチューンを＋16セントに設定した場合、S2D2をONにするとSHIFT 2は合計で1オクターブと＋16セント分トランスポーズします。これはSHIFT1と2を同じインターバルで設定する場合、豊かなデチューンサウンドを作り出すのに有効です。

EXPモード – EXPモードメニューは、3つの選択可能なサブメニューにエクスプレッション・ペダル/コントロール・ボルテージ(CV)をアサインします。VALUEノブを使用して、FREQ、GLIS、VOLのサブメニューをスクロールします。VALUEノブを押すと選択したサブメニューに入ります。

- **FREQ. –** エクスプレッション/CVは選択されたSHIFTチャンネルの周波数をコントロールし、ワーミーバーを用いたピッチベンドエフェクトを作り出します。
  - **OFF –** エクスプレッション/CV 周波数コントロールは無効です。
  - **SHF1 –** SHIFT 1の周波数のみコントロールします。
  - **SHF2 –** SHIFT2の周波数のみコントロールします。
  - **BOTH –** SHIFT1とSHIFT2の両方の周波数をコントロールします。
  - **1XS2 –** SHIFT1とSHIFT2をクロスシフトとクロスフェードします。SHIFT1からSHIFT2へベンドとボリュームのクロスフェードを同時に作り出します。

  NOTE：ヒール・ポジション(0V)はSHIFT1の値とボリューム設定、トゥ・ポジション(+5V)はSHIFT 2の値とボリューム設定です。

- **GLIS. –** エクスプレッション/CVはモーメンタリーモード時のピッチ・グリッサンドの上昇/下降をコントロールします。
  - **OFF –** エクスプレッション/CVによるグリッサンドコントロールは無効です。
  - **RISE –** グリッサンドの上昇のみをコントロールします。
  - **FALL –** グリッサンドの下降のみをコントロールします。
  - **BOTH –** グリッサンドの上昇/下降の両方をコントロールします。

- **VOL. –** エクスプレッション/CVは選択したチャンネルのボリュームのほか、各チャンネルのブレンドやクロスフェード、インバートなどの組み合わせの配列をコントロールします。
  - **OFF –** エクスプレッション/CVによるボリュームコントロールは無効です。
  - **SHF1 –** SHIFT 1のボリュームをコントロールします。
  - **SHF2 –** SHIFT 2のボリュームをコントロールします。
  - **BOTH –** SHIFT1と2の両方のボリュームをコントロールします。
  - **DRY –** DRYボリュームをコントロールします。
  - **D+S1 –** DRYとSHIFT 1のボリュームをコントロールします。
  - **D+S2 –** DRYとSHIFT 2のボリュームをコントロールします。
  - **ALL –** DRY、SHIFT 1、SHIFT 2のボリュームをコントロールします。
  - **BLND –** DRYから両方のSHIFTチャンネルへのブレンド量をコントロールします。

    - Note：ヒール・ポジション(0V)はDRY、トゥ・ポジション(+5V)はSHIFT 1とSHIFT 2の両方です。
  - **1XF2 –** SHIFT 1からSHIFT 2へのクロスフェードです
  - **1X2D –** SHIFT1からDRY音をミックスしたSHIFT 2へ クロスフェードします。
  - **D1X2 –** DRY音をミックスしたSHIFT 1からSHIFT 2へクロスフェードします。

USERモード – プログラマブルUSERフットスイッチは、異なるパラメーターのコントロールや機能の強化などにアサインが可能です。

BLNDや1XF2、1X2D、D1X2、1XS2の場合、フットスイッチを長押しすることで疑似的なエクスプレッション・ペダルとして動作します。これらのモードのクロスフェード・レートは、MOME(モーメンタリー)をLATCH(ラッチ)モードのサブメニュー内にあるRISEやFALLで設定します。5つのユーザーモードのうちのいずれかを使用する場合は、BYPASSフットスイッチをMOMEに設定している場合でもLATCHに切り替わります。

USERフットスイッチにフリケンシー、もしくはボリュームコントロールをアサインした場合、EXPジャックを使用した同じ機能へのアサインは無効になります。また、USER 1XS2はEXPのFREQ 1XS2よりも優先されます。

- **AUXO. –** AUXアウトを切り替えます。VALUEを押し、AUXアウトのコントロール・サブメニューへ入ります。選択した場合、AUXモードのBYPS設定よりAUXOが優先されます。
  - **BYP –** インプットシグナルとAUXアウト・セッティングを切り替えます。
  - **MUTE –** USERをOFFにした際、AUXアウトをミュートします。
- **SHF1 –** SHIFT 1のON/OFFを切り替えます。
- **SHF2 –** SHIFT 2のON/OFFを切り替えます。
- **JUMP. –** VALUEノブを回すことでプリセットを1～100まで選択できます。USERフットスイッチを押した際、有効なプリセットが選択されている場合は選択したプリセットへジャンプし、ロードします。ジャンプ先のプリセットは、プリセットチェーンとして、いくつでも繋ぐことができます。
  これらのプリセットチェーンの設定によっては、USERフットスイッチを押すたびに循環するプリセットのループを作成できます。JUMPでプリセットチェーンを設定する方法については、P.10を参照してください。
- **HOLD –** BYPASSスイッチをLATCHボタンを押してモーメンタリー（MOME.）に選択した場合、BYPASSを押すとサブメニュー内でプログラムされた速度でグリッサンド(グライド)が発生します。USERがHOLDに設定されている場合、グリッサンド中であってもUSERフットスイッチが押された時点のピッチでホールドします。USERフットスイッチを離すと、BYPASSフットスイッチを押したままであればグリッサンドが継続されます。
- **BLND –** DRYから両方のSHIFTチャンネルへブレンドします。
- **1XF2 –** SHIFT 1からSHIFT 2へクロスフェードします。
- **1X2D –** SHIFT 1からDRY音をミックスしたSHIFT 2へクロスフェードします。
- **D1X2 –** DRY音をミックスしたSHIFT 1からSHIFT 2へクロスフェードします。
- **1XS2 –** SHIFT 1からSHIFT 2へクロスシフトとクロスフェードします。

USERモードボタンをJUMPに設定すると、任意の数のプリセットをチェーン接続することが可能です。JUMPプリセットチェーンの設定方法は以下の通りです。

1. PRESETボタンを押し、VALUEノブを使用してプリセット・チェーンのスタートとなるプリセットナンバーを選択します。
2. USERモードボタンを押し、VALUEノブを回しJUMPを選択します。
3. VALUEノブを押し、JUMPのサブメニューへ入ります。
4. VALUEノブを回し、USERフットスイッチでジャンプし、ロードするプリセットを選択します。
5. PRESETボタンを押し、プリセットをセーブするため、VALUEノブを2秒以上長押しします。

重要：この手順をスキップするとプリセットがロードされた時にJUMPの選択が以前の値に戻ります。次の手順でUSERフットスイッチを押す前にセーブする必要があります。

6. USERフットスイッチを押すと、チェーンの次のプリセットへジャンプします。
7. プリセットを追加するには手順2〜6を繰り返します。
8. ジャンプ・プリセットチェーンを終了するには、チェーンの最後のプリセットナンバーを手順1で設定したプリセットに設定します。

Note：プリセットチェーンをループさせたくない場合は、この手順をスキップしてください。

X-MODモード – VALUEノブを押して、クロスモジュレーション(X-MODとSHIFT2+DETUNE2(S2D2)サブメニューに入ります。クロスモジュレーションはリングモジュレーションやフリケンシー・モジュレーションエフェクトを作るのに使用することができます。S2D2は現在のSHIFTインターバルにSHIFT 2のデチューン値を追加します。

- **1->2. –** X-MODボタンを押し、VALUEノブを回してSHIFT 1がSHIFT 2へモジュレーションする量を調整します。
  - ・レンジは最大で0〜100まで選択でき、僅かな変調から激しいモジュレーションサウンドまで設定可能です。値が0に設定されている場合、モジュレーションは無効です。
- **1<-2. –** X-MODボタンを押し、VALUEノブを回してSHIFT 2がSHIFT 1へモジュレーションする量を調整します。
  - ・レンジは最大で0〜100まで選択でき、僅かな変調から激しいモジュレーションサウンドまで設定可能です。値が0に設定されている場合、モジュレーションは無効です。
- **S2D2. –** ボタンを押し、VALUEノブを回してSHIFT 2の半音とオクターブのインターバルにSHIFT 2のデチューン(D.)セッティングを追加するかのON/OFFを切り替えます。例えば、SHIFT 2を1オクターブに設定し、SHIFT2デチューン(D.)メニューは+16セントに設定、S2D2をONにしたときSHIFT 2はトータル1オクターブと+16セントトランスポーズします。これはSHIFT 1と2がSHIFTモードで同じ値に設定した場合、その間で豊かなデチューンサウンドを作るのに有効です。適用されるデチューン量の調整は、7ページのデチューン(D)の設定をご参照ください。

PRESETモード – PRESETモードでは、VALUEノブでロードもしくはセーブするプリセットを選択します。VALUEノブを回してプリセットを選択後に、ノブを押して選択したプリセットをロードします。

PITCHFORK®+には、10個のユニークなファクトリープリセット(P.12を参照)と90個の空のスロットを備えています。機能のいくつかをフィーチャーしているファクトリープリセットは、音作りのガイドとなることでしょう。これらのファクトリープリセットは、いつでも上書きすることができます。工場出荷時のプリセットを復元する方法についてはP.12をご参照ください。

プリセットのロード：プリセットモード時にVALUEノブを回してプリセットスロットをスクロールします。プリセットスロットナンバーの点滅は、選択したスロットが現在ロードされていないことを示します。データが存在するプリセットスロットの場合は、右下隅にドットが表示されます。VALUEノブを押すとプリセットナンバーの点滅が停止してプリセットがロードされますが、スロットが空の場合は点滅し続けます。

プリセットの保存：VALUEノブを回してPRESETメニュー内で任意のスロットを選択します。選択したスロットがロードされていない場合はプリセットのスロットナンバーが点滅します。空のスロットは、右下隅にドットが表示されません。VALUEノブを2秒間長押しすると、PRESETボタンが点滅し、セーブが完了すると点灯へ切り替わります。

プリセットの変更：LIVEがロードされている場合を除き、1つ以上のパラメーター値がセーブ状態から変更されるとPRESETボタンが点滅します。設定がセーブ時の値に戻るか、プリセットがロードされるか、変更されたプリセットが保存されるまで点滅し続けます。

LIVEは、新しいプリセットの作成用のプリセットテンプレートで、スロット1の前に位置しています。LIVEに加えられた変更は、他のプリセットがロードまたはセーブされている場合でもそのスロットに残ります。LIVE設定は、いつでもプリセットスロットにセーブすることが可能です(プリセットのセーブの項をご参照ください)。

重要：電源を入れると、LIVEはデフォルト設定に戻ります。LIVEに加えた変更を保持したい場合は、ペダルの電源を切る前にそれらをプリセットスロットにセーブする必要があります。DRY、SHIFT 1、およびSHIFT 2のLIVEの音量設定は、ノブの実際の位置が反映されます。

FACTORY DEFAULT LIVE SETTINGS

AUX	SHIFT 1	SHIFT 2	EXP	USER	X-MOD	LATCH
ALL	-1OCT	+1OCT	FREQ. set to BOTH	SHF1	OFF	LATC

ファクトリープリセットの復元：プリセットスロット1～10

1. PRESETモードボタンを押したままPITCHFORK®+の電源を入れます。
2. 通常起動前に、ディスプレイに「FACTORY PRESETS RESTORED」と表示されます。
3. スロット1～10のプリセットは、元の工場出荷時設定に復元されます。

FACTORY PRESETS 1-10

PRESET	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
AUX	ALL	ALL	ALL	ALL	ALL	ALL	ALL	ALL	ALL	ALL
SHIFT1	P5	-P5	-23c	-1OC	-5c	P4	-1OC	-1OC	-1OC	-1OC
SHIFT2	P5	P12	+12c	2OCT	-1OC	P11	1OCT	P19	P5	1OCT
EXP	FREQ BOTH	FREQ BOTH	FREQ SHF1	FREQ SHF1	FREQ BOTH	VOL D1X2	FREQ BOTH	VOL BOTH	VOL BOTH	VOL BOTH
USER	SHF2	SHF2	SHF2	SHF1	SHF2	SHF2	JUMP 8	JUMP 7	SHF1	SHF1
X-MOD	0 0 ON	0 0 OFF	0 0 OFF	64 12 OFF	0 0 OFF	0 0 OFF	0 0 OFF	0 0 OFF	0 0 OFF	0 0 OFF
LATCH	LATC	LATC	LATC	LATC	LATC	LATC	LATC	LATC	79 0 OFF BOTH	0 78 OFF BOTH

LATCHモード – LATCHモードでは、BYPASSフットスイッチの動作方法を選択します。ラッチまたはグリッサンド(グライド)コントロールを使用できるモーメンタリーのいずれかに設定できます。LATCHスイッチを押すとモード設定に切り替わります。

- **LATC –** ラッチモードでは、BYPASSフットスイッチを押すたびにエフェクトのON/OFFを切り替えます。
- **MOME. –** モーメンタリーモードでは、BYPASSフットスイッチを押すとグリッサンド効果が発生します。グリッサンドの設定したピッチに到達するまでのスピード、および影響を受けるSHIFTチャンネルは、次のサブメニューで設定されます。モード内で「MOME.」選択時にVALUEノブを押して、モーメンタリーモードのメインメニューに入ります。
  - **RISE. –** BYPASSフットスイッチを長押ししたときにグリッサンドレートがユニゾンからSHIFTノブの設定に移行するスピードを調整します。VALUEノブを押した後、ノブを回して設定を変更可能です。0に設定すると立ち上がり時間は4msで、最大設定の100では立ち上がり時間は4秒となります。
  - **FALL. –** BYPASSフットスイッチを離した時にグリッサンドレートがSHIFTノブの設定からユニゾンに戻るスピードを調整します。VALUEノブを押した後、ノブを回して設定を変更可能です。最小レートは4ms、最大レートは4秒です。グリッサンドの落下レートがユニゾン/バイパスに戻るまで、バイパスLEDは点灯したままになります。
  - **LINK. –** LINKのON/OFFを切り替えます。ONに設定すると、RISEの設定がRISEとFALLの両方に反映されます。
  - **DEST. –** VALUEノブを押して、グリッサンドコントロールの影響を受けるSHIFTチャンネルを選択するサブメニューに入ります。
    - **SHF1 –** SHIFT 1のみ
    - **SHF2 –** SHIFT 2のみ
    - **BOTH –** SHIFT1と2にはグリッサンドコントロールが反映されます

外部フットスイッチ機能
EXTインプットジャックにEHX Triple Foot ControllerやDigitech® FS3Xなどの外部フットコントローラーを接続することで、コントロールを拡張することが可能です。TRSケーブルでフットコントローラーをEXTインプットに接続したら、外部フットコントローラーで、モードの変更、サブメニューへの入出、プリセットのロード、およびパラメーター値のスクロールを行います。

フットコントローラーの3つのフットスイッチには、Mode (Tip)、Up (Ring)、Down (Tip+Ring)がアサインされており、次のように機能します。

MODE (Tip) – このフットスイッチでは、8つのモードボタンの切替、サブメニューへの入出、プリセットのロードを行えます。

・モードの切替：モードのメインメニューが表示されているときに1回押すと、次のモードボタンが選択されます。
・サブメニューON：MODEフットスイッチをすばやくダブルタップします。
・サブメニューOFF：1回押すと1つ上のメニューレベルに戻ります。

UP (Ring)/DOWN (Tip+Ring) – これら2つのフットスイッチでは、パラメーター値とメニューのスクロールが行えます。

・インクリメント：UPフットスイッチを1回押すと、現在のパラメーター値が1アップします。
・デクリメント：DOWNフットスイッチを1回押すと、現在のパラメーター値が1ダウンします。
・クイックスクロールインクリメント：UPフットスイッチを長押しすると、以下にリストアップした特定のモードおよびサブメニューの値をより速いスピードでアップ側にスクロールします。
・クイックスクロールデクリメント：DOWNフットスイッチを長押しすると、以下にリストアップした特定のモードおよびサブメニューの値をより速いスピードでダウン側にスクロールします。

クイックスクロールは、SHIFT 1&2、DETUNE 1&2、JUMP、1-> 2、1 <-2、PRESET、RISE、FALLのモード/メニュー内で機能します。PRESETモードですばやくスクロールして任意のプリセットに到達したら、UPまたはDOWNスイッチをタップして選択したPRESETをロードします。データが入っている有効なプリセットスロットの場合は、右下隅にドットが表示されています。

MEMO

正規輸入代理店

株式会社　キョーリツコーポレーション

〒468-0002
愛知県名古屋市天白区焼山 1 丁目 813 番地
E-MAIL : support@kyoritsu-group.co.jp